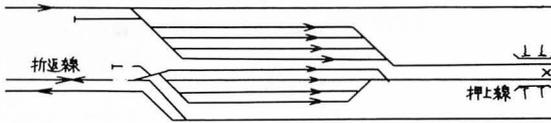


図-4. 折返し線



着線に接続すると、到着線の使用効率が低下するので、この線を設けるのである。電車站などでは上下線をY線で結び、このY線によって折返運転をする場合が多いが、このY線を折返し線ということもある。

(2) 突込線

線路の形態上行止りになっている線路をいう。広義には引上線・安全側線・折返し線などの行止り線も含まれるが、普通構内などで一時的に車両を留置する目的で設けられた行止り線をいうことが多い。

(3) 機走線

機関車走行線の略称で機回線と俗称する。機関車が列車出発線または到着線と機関車庫または給炭水線との間に相互出入する場合、駅構内入換作業を支障しないで迅速に往復できるように、機関車のみ走行させる目的で設けられた線路。

(4) 以上のほか使用の便宜・所属・形態等により通称つぎのようなものがある。

ア 貨物線 もっぱら貨車に使用する目的で設けられた貨車仕訳線・貨車留置線等を客車留置線・客車洗じょう線等と区別している。このほか貨物輸送上使用する線路をいうこともある。

イ \* 貨物積卸線 貨物の積卸作業を目的として設けられた線路で、取扱貨物品目によって荒荷線・散荷(ばら)線・石炭線・砂利線・家畜線・鮮魚線・事業用品積卸線等と呼ばれる。原則として貨物積卸場に沿って設置される。

ウ 予備車線 客車の配属されている駅または操車場には、運用車のほかに予備車が配置されている。この予備車を留置する線路をいう。

エ 機待線 列車の牽引機(けんいんき)となる機関車が、列車の到着またはすえ付けの前に一時待合わせる目的で設けられた線路で、機関車付替駅・始発駅に設けられている。

オ 洗じょう線 車両を洗じょうする目的で設けられた線路で、給水設備・洗じょう台も併設されている。電車・気動車・客車の場合には機械洗じょう設備を設けて経営の合理化を図っている。洗じょうする車両によって客車洗じょう線・貨車洗じょう線等と呼ばれる。

カ 給炭水線 機関車に石炭および水を補給するために設けられた線路で、給炭水設備・灰坑が併設されている。このなかで給水のみを目的とするものを給水線といい、給炭のみを目的とする線路を給炭線という。

キ 検修線 機関車・電車・気動車または客貨車の検査・修繕を行う線路で、検査と修繕を分けることは困難であるが、検査を主体とした線路を検査線、修繕を主体とした線路を修繕線という。検修の種類によりさらに丙修線・洗缶線・交検線・特仕線・仕業検査線・仕立検査線・滞留検査線等と呼ばれている。各線にはおのおのの使命に応じて機械設備・電気設備・検査坑・上家が設備される。

ク 機関区線 機関区に所属する線路で、その使命・位置等により留置線・転車台線・給炭水線・給砂線・検修線・試運転線・入区線・出区線・入出区線・石炭車線・倉庫線・庫内線・庫外線等と呼ばれる。この線内の車両の移動はすべて機関区に

属する誘導掛の誘導によってなされる。駅と機関区との線路の分界点は駅と機関区との間で適当に協定する。

ケ 検車線 客車区・貨車区・客貨車区で平常使用する線路の総称で、その目的により洗じょう線・検修線・消毒線等と呼ばれる。

コ 電車区線 電車区に所属する線路で、その使用目的により留置線・検修線・試運転線・組替線・倉庫線等と呼ばれる。機関区線と同様に電車区線内は電車区の誘導掛の誘導により電車の移動が行われる。駅と電車区との線路の分界点は、駅と電車区との間で適当に協定する。

サ 気動車区線 機関区線・電車区線と同じように気動車区に所属する線路で、その使用目的により出入区線・留置線・給油線・洗じょう線・組替線・検修線・倉庫線等と呼ばれる。同線内の車両の移動や駅・区との分界点の定め方もまた同様である。

シ 渡り線 並行せる線路間を結ぶ線路を渡り線といい、特に複線区間において上下本線相互間で、事故等の際に使用する目的で設けられた線路を非常渡り線という。

ス Y線 上下本線間に共用の突込線を設けたものをいい、電車または気動車の折返し線として使用される。

セ 行止線 線路の終端がほかの線路に結ばれず車止が設けられている線路で、別に突込線ともいう。

ソ 安全側線 停車場内で2以上の列車または車両が同時に進入または進出するとき、過走して衝突等の事故を防ぐために設けた線路で、車止は砂利盛となっているのが原則である。

タ 専用線 \* 専用鉄道および\* 専用側線をいう。(鳥羽秀雄・平林伝蔵)

そくどかんそくほう 速度観測法 運転中の列車が時速何キロで走っているかを識別する方法で、一般につきよっている。

1 キロ程標による方法

$\frac{1}{2}$  km 標の間を通過する秒数で 1,800 を割った数がある時の列車速度である。

2 レールの継目数による方法

レールの種別により、一定秒数中に通過するレールの本数がその時の列車の速度で、表に示せばつぎのとおりである。

レールの種別	レールの長さ (m)	通過するレールの数が速度 (km/h) となる秒数
30 kg	9	33
37	10	36
50	12	43
標準 30	20	72
" 37	25	90
" 50	25	90

3 動輪回転数による方法

一定時間の動輪回転数を数えれば、その数が列車の速度となる。一定時間は動輪の直径によりつぎのとおりである。

動輪直径	一定時間 (秒)	機 関 車 形 式
1,750	20	C51 C55 C57 C59 C61 C62
1,600	18	8620 8850 C50
1,520	17	C10 C11 C58
1,400	16	D51 D52 D50 C12
1,250	14	9600 2120 E10

(井上末次郎)

そくどきょくせんけいさんき 速度曲線計算機 (独) Fahrzeitermittlungsmaschin 列車の速度曲線を求めるための機械で、現在電氣的なものとは機械的のものが作られている。